



たごやの 田小屋野貝塚

つがる市 約6,000～4,500年前
史跡指定／1944年



現在の様子



約6,000年前の人骨



ベンケイガイ製の貝輪

縄文時代のブレスレット工場

日本海側にある全国でも数少ない貝塚です。ヤマトシジミなどの貝類を中心に、フナやサバなどの魚骨、マガン・カモなどの鳥骨、ノウサギ・カモシカのほか、クジラといった大型ほ乳類の骨も見つかります。また、ベンケイガイ製貝輪(ブレスレット)が約60点出土しています。いずれも未完成品や破損品であることから、貝輪の加工場だったと考えられます。



北海道の遺跡からもベンケイガイ製の貝輪が出土し、一方、田小屋野貝塚からは北海道産の黒曜石が見つかることから、生産と流通、津軽海峡を越えた交易があったと考えられます。

Q&A

Q どうして現在は内陸なのに貝塚があるの？

A 遺跡の眼下には、当時、「古十三湖」と呼ばれる広大な内海が広がっていました。水産資源の豊富な場所を利用したものと考えられます。



「縄文海進」最盛期(約7000～6000年前)と田小屋野貝塚・亀ヶ岡遺跡
([「つがる市の環境変遷と縄文遺跡」(辻・佐野2015)より])

Q 出土した人骨から何がわかるの？

A 貝塚から約6,000年前の人骨が見つかりました。日本海側東北部での出土は珍しい例です。骨盤の観察から出産歴のある成人女性の人骨であることがわかっています。

関連展示施設

つがる市木造 亀ヶ岡考古資料室



田小屋野貝塚や亀ヶ岡石器時代遺跡からの出土品をはじめ、地元の方が集めた縄文遺跡の出土品を多く展示しています。

ここに
注目!

田小屋野貝塚出土の石槍や大型の石棒のほか、亀ヶ岡遺跡出土の遮光器土偶や漆塗りの土器などを見ることができます。

開館日時 9時～16時 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始休館
入館料 大人200円ほか
住所 つがる市木造館岡屏風山195
電話 0173-45-3450



【遺跡に関するお問い合わせ】
つがる市教育委員会社会教育文化課
TEL 0173-49-1194